

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	S1_ICA 高校1年 ICA	Subject Area / Class 教科 / 科目	S1_ICA_Integrated_Japanese_Classics_2018 高校1年 ICA	Class hours 時間数	2時間 / 週
----------------------------------	--------------------	---------------------------------	--	--------------------	---------

1学期 中間試験 Term 1 Midterm

Name of Unit, Project 単元名	「正直の徳」 「児のそら寝」	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	明治書院 新 精選国語総合 古典編
------------------------------	----------------	-------------------------------------	-------------------

Unit Description 単元の概要	①古文独特の言葉の響きを感じる。 ②文法を知り、正しく話の内容を理解する。
---------------------------	--

Class Standards 評価規準		
楽	A3 ジャンルの特徴をとらえ、作品のテーマについて説明することができる。	B3 作品に対する解釈を議論するなかで、根拠の妥当性を指摘しながら、現代語訳を再検討することができる。
好	A2 文法をいかし、適切な現代語訳ができる。	B2
知	A1 歴史的仮名遣いや古語を理解する。	B1 古人のものの見方・感じ方を知り、日本文化のルーツを理解する。
	Recognition	Logical Thinking
		Creative Thinking

Learning Objectives 学習内容		
A3 説話の特徴をとらえながら、作品のテーマを説明する。	B3 グループディスカッションを通してよりよい現代語訳をする。	C3
A2 適切に訳すことで、世界観を知る。	B2	C2
A1 本文中の古語を正しく音読する。	B1 古人が感じていたことは今の私たちと変わらないことがあることを知る。	C1 同じ日本の中でも時代によって移り変わるものを知る。

Others 備考	<評価方法> グループワーク・プレゼンテーション・レポート・定期試験 <ICT> iPadを利用した調べ学習とプレゼンテーション
--------------	---

Grade Level / Course 学年 / コース	S1_ICA 高1 ICA	Subject Area / Class 教科 / 科目	S1_ICA_Integrated_Japanese_Classics_2018 高校1年 ICA	Class hours 時間数	2時間 / 週	
1学期 期末試験 Term 1 Final						
Name of Unit, Project 単元名	「つれづれなるままに」「ある人、弓射ることを習ふに」		Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	明治書院 新 精選国語総合 古典編		
Unit Description 単元の概要	①随筆の文章に触れ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。 ②作者の人生観、社会観を形成した社会状況を、具体的な描写からとらえる。 ③形容詞、形容動詞の活用の種類と活用形について理解する。					
Class Standards 評価規準			Learning Objectives 学習内容			
楽	A3 ジャンルの特徴をとらえ、作品のテーマについて説明することができる。	B3	C3	A3 随筆の特徴をとらえながら、作品のテーマを説明する。	B3	C3
好	A2 文法をいかし、適切な現代語訳ができる。	B2	C2 作品や古人の思想をふまえ、現代社会に生きる自分を再定義できる。	A2 適切に訳すことで、世界観を知る。	B2	C2 徒然草の教えを自分の中に落とし込んで理解し、その考えを活かす。
知	A1 基本となる文法を理解する。	B1 古人のものの見方・感じ方を知り、日本文化のルーツを理解する。	C1	A1 形容詞、形容動詞の活用の種類と活用形の理解。	B1 古人が感じていたことは今の私たちと変わらないことがあることを知る。	C1
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			
Others 備考	<評価方法>グループワーク・プレゼンテーション・レポート・定期試験 <ICT> iPadを利用した調べ学習とプレゼンテーション					

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	S1_ICA 高校1年 ICA	Subject Area / Class 教科 / 科目	S1_ICA_Integrated_Japanese_Classics_2018 高校1年 ICA	Class hours 時間数	時間 / 週
---	--------------------	--	--	---------------------------	--------

2学期 中間試験 Term 2 Midterm

Name of Unit, Project 単元名	「かぐや姫の生ひ立ち」「かぐや姫の嘆き」	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	明治書院 新 精選国語総合 古典編
-------------------------------------	----------------------	--	-------------------

Unit Description 単元の概要	①最古の物語文学を味わうことを通して、伝統的な和文の調べを体感する。 ②助動詞の正しい用法を理解する。 ③敬語表現を理解し、人間関係を的確に理解する。
----------------------------------	---

Class Standards 評価規準	Learning Objectives 学習内容																									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">楽</td> <td style="width: 20%;">A3 出来事を整理し、場面の展開について相手にわかりやすく説明することができる。</td> <td style="width: 20%;">B3</td> <td style="width: 20%;">C3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">好</td> <td>A2 和文・漢文・混交文の調べや格調を体験的に味わう。</td> <td>B2 表現手法や修辞法に注意しながら、作品を解釈する。</td> <td>C2 作品や古人の思想をふまえて、現代社会に生きる自分を再定義できる。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">知</td> <td>A1 基本となる文法を理解する。</td> <td>B1 古人のものの見方・感じ方を知り、日本文化のルーツを理解する</td> <td>C1 日本文化のなかでも時代ごとに変化する文化の違いを理解する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">Recognition</td> <td style="text-align: center;">Logical Thinking</td> <td style="text-align: center;">Creative Thinking</td> </tr> </table>	楽	A3 出来事を整理し、場面の展開について相手にわかりやすく説明することができる。	B3	C3	好	A2 和文・漢文・混交文の調べや格調を体験的に味わう。	B2 表現手法や修辞法に注意しながら、作品を解釈する。	C2 作品や古人の思想をふまえて、現代社会に生きる自分を再定義できる。	知	A1 基本となる文法を理解する。	B1 古人のものの見方・感じ方を知り、日本文化のルーツを理解する	C1 日本文化のなかでも時代ごとに変化する文化の違いを理解する。		Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">A3 物語における出来事の整理、場面の展開を理解する。</td> <td style="width: 20%;">B3</td> <td style="width: 20%;">C3</td> </tr> <tr> <td>A2 古語の調べに注目して音読する。</td> <td>B2 作り物語における語りのあり方に注意した上で作品を解釈する。</td> <td>C2 竹取物語の作品世界をふまえて、現代社会に生きる自分の再定義。</td> </tr> <tr> <td>A1 助動詞の意味と用法、敬語の種類についての理解をする。</td> <td>B1 王朝人のものの見方・感じ方を知り、日本文化のルーツを理解する。</td> <td>C1 平安時代の国風文化を理解する。</td> </tr> </table>	A3 物語における出来事の整理、場面の展開を理解する。	B3	C3	A2 古語の調べに注目して音読する。	B2 作り物語における語りのあり方に注意した上で作品を解釈する。	C2 竹取物語の作品世界をふまえて、現代社会に生きる自分の再定義。	A1 助動詞の意味と用法、敬語の種類についての理解をする。	B1 王朝人のものの見方・感じ方を知り、日本文化のルーツを理解する。	C1 平安時代の国風文化を理解する。
楽	A3 出来事を整理し、場面の展開について相手にわかりやすく説明することができる。	B3	C3																							
好	A2 和文・漢文・混交文の調べや格調を体験的に味わう。	B2 表現手法や修辞法に注意しながら、作品を解釈する。	C2 作品や古人の思想をふまえて、現代社会に生きる自分を再定義できる。																							
知	A1 基本となる文法を理解する。	B1 古人のものの見方・感じ方を知り、日本文化のルーツを理解する	C1 日本文化のなかでも時代ごとに変化する文化の違いを理解する。																							
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking																							
A3 物語における出来事の整理、場面の展開を理解する。	B3	C3																								
A2 古語の調べに注目して音読する。	B2 作り物語における語りのあり方に注意した上で作品を解釈する。	C2 竹取物語の作品世界をふまえて、現代社会に生きる自分の再定義。																								
A1 助動詞の意味と用法、敬語の種類についての理解をする。	B1 王朝人のものの見方・感じ方を知り、日本文化のルーツを理解する。	C1 平安時代の国風文化を理解する。																								

Others 備考	<評価方法>グループワーク・プレゼンテーション・レポート・定期試験 <ICT> iPadを利用した調べ学習とプレゼンテーション
------------------	--

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

MITA International School Syllabus 2018					
三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス					
Grade Level / Course 学年 / コース	S1_ICA 高校1年 ICA	Subject Area / Class 教科 / 科目	S1_ICA_Integrated_Japanese_Classics_2018 高校1年 ICA	Class hours 時間数	時間 / 週
2 学期 期末試験 Term 2 Final					
Name of Unit, Project 单元名	「芥川」 「筒井筒」		Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	明治書院 新 精選国語総合 古典編	
Unit Description 单元の概要	①和歌を中心とした歌物語の特徴をつかみ、他ジャンルの文章との相違点について理解する。 ②王朝貴族社会における恋愛と結婚形態を理解する。 ③助動詞の意味・用法を知る。				
Class Standards 評価規準			Learning Objectives 学習内容		
楽	A3 ジャンルの特徴をとらえ、作品のテーマについて説明することができる。	B3	C3	A3 歌物語の特徴をとらえ、伊勢物語のテーマを説明する。	B3
好	A2 古語・諺・慣用句・故事成語・秀歌を知り、作品理解の助けにする。	B2	C2	A2 和歌そのもの、和歌の贈答について知った上での作品理解。	B2 地の文の表現手法や和歌の修辞法に注意しながら、作品を解釈する。
知	A1 基本となる文法を理解する。	B1 古人のものの見方・感じ方を知り、日本文化のルーツを理解する。	C1 自国の文化をふまえ、異文化への理解を深める。	A1 助動詞の意味と用法についての理解。	B1 王朝貴族社会における恋愛のあり方を知った上での、日本文化のルーツの理解。
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking		
Others 備考	<評価方法>グループワーク・プレゼンテーション・レポート・定期試験 <ICT> iPadを利用した調べ学習とプレゼンテーション				

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	S1_ICA 高校1年 ICA	Subject Area / Class 教科 / 科目	S1_ICA_Integrated_Japanese_Classics_2018 高校1年 ICA	Class hours 時間数	時間 / 週
----------------------------------	--------------------	---------------------------------	--	--------------------	--------

3学期 学年末試験 Term 3 Final

Name of Unit, Project 単元名	『万葉集』 『古今和歌集』 『新古今和歌集』	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	明治書院 新 精選国語総合 古典編
------------------------------	------------------------	-------------------------------------	-------------------

Unit Description 単元の概要	①日本文化の根幹を為す三大歌集の秀歌を鑑賞し、「やまごころ」の神髄を知る。 ②三大歌集それぞれの特徴について把握する。 ③和歌の修辞法の基礎について理解を深める。
---------------------------	---

Class Standards 評価規準				Learning Objectives 学習内容		
楽	A3 和文調べや格調を理解し、韻律の特徴を説明できる。	B3 関連のある作品を比較し、問題点を提起することができる。	C3	A3 三大歌集それぞれの韻律の特徴についての理解。	B3 三大歌集を比較し、差異について問題点を提起する。	C3
好	A2 古語・諺・慣用句・故事成語・秀歌を知り、作品理解の助けにする。	B2	C2	A2 一首ずつの正確な理解から、歌集全体への理解を深める。	B2	C2
知	A1 基本となる文法を理解する。	B1 古人のものの見方・感じ方を知り、日本文化のルーツを理解する。	C1 日本文化のなかでも時代ごとに変化する文化の違いを理解する。	A1 句切れの根拠となる文法事項についての理解。	B1 和歌に表出された古人の想いの正確な理解。	C1 奈良・平安・鎌倉の時代ごとに変化する文化の理解。
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			

Others 備考	<評価方法> グループワーク・プレゼンテーション・レポート・定期試験 <ICT> iPadを利用した調べ学習とプレゼンテーション
--------------	---